

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320229	X-21-B-1-320229	1	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
中国語 1 cA	姜 杰裕			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

中国は近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々に様々な面で大きな影響力を持つようになった。隣国である日本においても中国語によるコミュニケーション能力がますます必要になっている。中国語のコミュニケーション能力は「聞く・話す・読む・書く」に大別できるが、それぞれが密接な関係をもっている。本講義では各能力の基礎となる発音・声調の習得訓練を主として行い、正確な発音で中国を発話する基礎を身につけさせたい。

各回毎の授業内容

第1回

【授】はじめに・単母音・複合母音・四声 *毎回の授業内容は若干変更される可能性がある
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第2回

【授】子音(1) 無気音と有気音
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第3回

【授】子音(2) そり舌音とその他の子音
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第4回

【授】鼻音をともなう母音
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第5回

【授】発音の総合練習(1)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第6回

【授】発音の総合練習(2)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習したピンイン符号を繰り返し音読練習すること。

第7回

【授】動詞述語文(1)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第8回

【授】動詞述語文(2)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第9回

【授】数字の表現
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第10回

【授】形容詞述語文(1)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第11回

【授】形容詞述語文(2)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第12回

【授】選択疑問文(1)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第13回

【授】選択疑問文(2)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第14回

【授】時間の表現(1)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第15回

【授】時間の表現(2)
【前・後】【必要な時間：1時間以上】学習した単語やテキスト本文の読み書きができるまで繰り返し練習すること。

第16回

【授】期末試験
【前・後】テキストの本文を中心にピンイン符号と漢字の読み書きが完璧にできるまで復習すること。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							15
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							15
成果発表(口頭・実技)							20
演習							
その他							

出席率と発音・四声の正確さ、さらにピンイン符号の読み書き能力を重視する。成績評価は定期試験・小テスト・出席率などを総合的に評価する。小テストについてはチェックをしてから返却する。

教科書参考書

教科書：朱継征著『速問即答中国語 入門編』朝日出版 2700円+税 参考書：相原茂『はじめての中国語』講談社現代新書 740円+税

受講に当たっての留意事項

発音練習をする際には、大きな声で歌うように発声すること。テキストの単語や文は暗誦できるまで大きな声で何回も読むこと。ピンイン符号は読み書きが完璧にできることを目標に繰り返し練習すること。

学習到達目標

発音・四声の徹底した練習を通してピンイン符号の読み書きが正確にできるようにしたい。さらに学習した語彙と文型を使って自分の日常生活の一部を中国語で表現できるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習